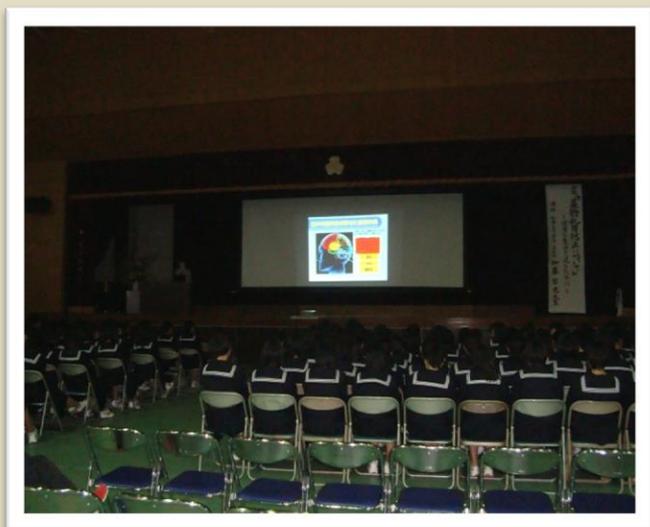


薬物乱用防止教育講演会

10月30日(月)7校時目に2年生対象の薬物乱用防止教育講演会を行いました。講師は加藤古市薬局の加藤哲也先生でした。講演では映像を取り入れて、薬物常用者の顔貌の変化をみせていただいたり、薬物を勧められた時の具体的な断り方を様々なケースを通じて教えていただきました。



《生徒の感想》

- 覚せい剤等の薬物だけでなく、タバコやお酒も使用方法を誤ると人生を大きく変えることにつながるかわかった。
- 薬物とは無縁な生活をしていると思っているが、いつ誘われるかわからないので、自分を守るためにも強い意志を持って断っていきたい。
- 薬物の脳への影響や依存症になり人生が狂ってしまうことに恐怖を感じた。芸能人の使用もよく報道されるが本当に危険だと思った。

「自分を大切にする勇氣」
を持ってください。



人間が人間でなくなる薬物乱用の恐怖…

薬物の恐ろしさは、①依存性②耐性③精神障害を引き起こす④フラッシュバックを引き起こす点にあります。薬物は脳を破壊し、人間が人間としての考え・行動をコントロールできなくなり人格を破壊します。自分自身、友人や家族を確実に破壊することになります。

また、薬物にいったん手を出すとやめることが非常に困難できわめて難しい状態となります。後戻りすることはできず、一生薬物と付き合っていくこととなります。一人一人が薬物を正しく認識し、拒否する強い信念を持ってください。

絶対に使用しないこと！人生を踏み外さないために。

